

活動計画書 / 活動実施計画書

団体名： 特定非営利活動法人 市民まちづくり風の会

1 組織の現況、課題

2005年に開催された愛知万博に向けて、地域住民・関係行政との協力による環境に調和し活力あるまちづくりを行うために設立され、現在は歴史と文化を活動の中心に据え、名古屋市に縁のある後藤新平氏の顕彰活動と、名古屋市の文化を形成してきた堀川・新堀川での取り組みを行っています。役員も皆高齢化やお亡くなりになる方が増え、組織の若返りとともに、若い世代の活動を増やしていきたいと考えています。

2 助成を受けようとする活動の目的

名古屋三川の一つである新堀川は、都心の中心を流れ名古屋市の歴史と文化を育んできたが、悪臭が常態化し市民に親しまれる川になっていません。わたしたちは、植物の力で新堀川の水質浄化を推進し、新堀川に緑の空間をつくと共に、市民に親しまれる河川になるようにしていきたいと考えています。葦は、新堀川の悪臭の要因となっている過栄養（窒素酸化物・リン）を養分として吸収し生育します。その生育した葦を伐採することで、物理的に水中の過栄養を是正していきます。今回の助成で、現在実施しているか所とは別の二カ所目でも同様の葦の植栽エリアの拡大を図りたいと考えています。

3 活動による今年度の成果目標

今年度の成果目標としては、二カ所目の植栽域を整備し、毎年秋に実施している生育した葦の伐採作業を、地域の方にも声掛けして地域住民と一緒に行うことです。それによって、新堀川の悪臭の元になっている養分を取り除くことができ、また、普段近くまで下りられない新堀川の水辺まで来てもらうことで、新堀川にもフナなどの生き物がいることや、水辺から見える街の景色をことを感じてもらうことができます。水質浄化の伐採作業を通して、新堀川の水質浄化に自分も関わっているという当事者意識を一人でも多くの人にもってもらえるようにしたいと考えています。

また来年度以降、水質浄化の可視化ができるよう、他の事例を参考に実施方法を策定します。

4 助成を受けようとする今年度の活動内容

名古屋市から許可をもらっている場所には、残置物があり、雑草等が生えています。

- 1) まずこれらを取り除く作業を行い
- 2) 次に、葦が根を張れるように土と砂を運び込み、
- 3) 葦を移植すると共に、土や砂で植栽帯を整備します。
- 4) 地域の方との伐採作業

5 今年度の活動実施の際に協力や調整等が必要となる関係者等

名古屋市緑政土木局河川管理課
名古屋市中土木事務所
橘学区連絡協議会
老松学区連絡協議会

6 今年度の活動内容のスケジュール

年 月	活 動 内 容
2024 年 7 月 13 日	葦の植栽帯整備
2024 年 9 月頃	葦の伐採①のための PR 用チラシ作成・配布
2024 年 10 月頃	葦の伐採①
2025 年 2 月頃	葦の伐採②のための PR 用チラシ作成・配布
2025 年 3 月頃	葦の伐採②

7 活動後、次年度以降の展望

名古屋市の許可を受けながら、次年度以降も葦の植栽帯を順次増やしていき、植物の力で水質浄化を行っていることを広く市民に知ってもらおうと共に、悪臭問題の解決を少しずつ進めていきたいと考えています。

その際、名古屋市や協力団体からの継続的な支援や協力を取り付けるためにも、水質浄化の「効果の可視化」は必須と考え、来年度以降実施できるように、今年度は他都市や他団体での事例を調査し方法を策定していきます。

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、2 ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさは日本産業規格 A4 とする。